

Advance

～精神科薬剤師の明るい未来を目指して～

発行：PCP研究会広報委員会

精神科臨床薬学研究会の発足とニューズレターの発刊にあたって

世話人代表 桜ヶ丘記念病院 吉尾 隆

精神科臨床薬学（PCP）研究会は、精神科医療に携わる薬剤師の専門性向上、および薬剤師の立場からの研究・情報発信により、精神科医療の向上ならびに患者の社会復帰・社会参加に貢献することを目的として発足しました。そのために先ず、精神疾患、精神薬理を基礎から学び、精神科医療において適切な薬物療法を提案できる薬剤師になることが必要と考え、今年度上半期は、精神科専門医による講義と症例検討を行う講習会を全国で開催致しました。おかげさまで、平成18年2月末日に全国の精神科医療に携わる薬剤師の先生方に本会への入会案内を配布させて頂いてから、平成18年8月末には会員数が942名にまで達しています。また、全会員の内、約800名の先生方が講習会に参加して頂いており、参加者からの評価も大変好評でした。また、初年度の事業として、世話人の施設における統合失調症患者の処方実態調査を行い、第102回日本精神神経学会において発表を行いました。そして本会による発表は、一部の地方紙にはありますが掲載されるという大変うれしい出来事もありました。今回、ニューズレターの創刊号を発刊し、会員の先生方に今年度上半期の活動状況をご報告すると共に、下半期の予定や共同研究参加案内などをお届けすることとなりました。是非とも今後の活動にご理解とご協力頂けますことをお願い申し上げます。

初代世話人紹介

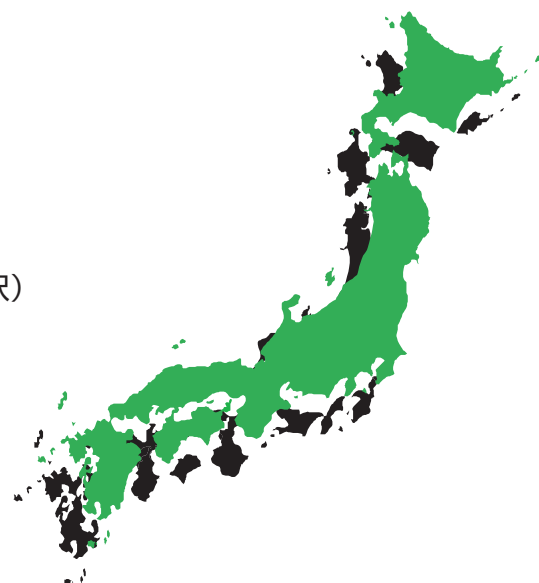
代表幹事 吉尾 隆 （桜ヶ丘記念病院：東京）

副代表幹事 天正雅美 （さわ病院：大阪）

副代表幹事 松田公子 （浅井病院：千葉）

<各ブロック世話人>

北海道ブロック	杉村和枝	（島松病院：札幌）
東北ブロック	黒沢雅広	（青南病院：八戸）
北陸ブロック	中川将人	（加賀神経サナトリウム：金沢）
関東・甲信越ブロック	井出光吉	（駒木野病院：東京）
	長谷川毅	（聖マリア記念病院：千葉）
東海ブロック	宇野準二	（桶狭間病院：愛知）
近畿ブロック	宮本直治	（北野病院：大阪）
中国・四国ブロック	梅田賢太	（松山記念病院：松山）
九州・沖縄ブロック	三輪高市	（山鹿回生病院：熊本）



～以上のメンバーで企画運営しています。宜しくお願い致します。～

H18年度上半期の活動について

全国12箇所において下記内容でブロック講演会を開催しました。

講演会内容：①統合失調症の病態生理（1.5h）

②抗精神病薬の薬理作用について（1.5h）

③ワークショップ「症例に基づく薬物療法の検討」（2.0h）

ブロック	北海道		東北		関東・甲信越ブロック	
開催地	札幌		仙台	盛岡	東京	千葉
開催日	5月13日		6月24日	6月25日	3月26日	6月18日
講演Ⅰ	所属	平松記念病院	千歳篠田病院	笠松病院	長谷川病院	千葉大学
	講師	矢萩英一先生	奥山直行先生	稲村 茂先生	木代眞樹先生	橋本謙二先生
講演Ⅱ	所属	北海道大学	佐藤病院	弘前大学	日本医科大学	放送大学
	講師	久住一郎先生	栗田征武先生	古郡規雄先生	大久保善朗先生	仙波純一先生
参加人数	59		42	41	143	73

ブロック	東海	北陸	近畿	中国・四国		
開催地	名古屋	金沢	大阪	松山	広島	
開催日	7月2日	6月4日	7月23日	6月4日	7月2日	
講演Ⅰ	所属	名古屋大学	松原病院	神戸大学	徳島大学	岡山大学
	講師	入谷修司先生	山口成良先生	橋本健志先生	上野修一先生	黒田重利先生
講演Ⅱ	所属	藤田保健衛生大学	金沢大学	大阪大学	徳島大学	愛媛大学
	講師	岩田仲生先生	長澤達也先生	工藤 喬先生	上野修一先生	末丸克矢先生
参加人数	61	47	70	30	65	

ブロック	九州		
開催地	博多	鹿児島	
開催日	5月14日	6月11日	
講演Ⅰ	所属	福岡病院	九州大学
	講師	高柴哲次郎先生	黒木俊秀先生
講演Ⅱ	所属	九州大学	横山記念病院
	講師	内田将博先生	横山 桂先生
参加人数	75	31	

近畿（予定）
大阪 心斎橋
9月10日
さわ病院
澤 温先生
大阪大学
工藤 喬先生
—

上半期講演会へのご参加ありがとうございました。多くの方々のご協力により講演会を開催出来たことに対し、心より御礼申し上げます。皆様方から頂いた、貴重なアンケート結果を吟味して、今後も有意義な会の運営を目指して参ります。下半期のご参加もよろしくお願い致します。

※尚、前期分の13箇所目として、近畿ブロックで9月10日（日）に大阪心斎橋で行う予定です。

（PCP研究会幹事一同）

☆学会発表報告☆

PCP研究会では、5月11日～13日の3日間、福岡で開催された「第102回日本精神神経学会」において3つの演題を発表しました。タイトルは、「統合失調症患者の薬物療法に関する処方実態調査～全国9施設の調査から～その123」です。

医師が中心の学会ということもあり、薬剤師の発表にはあまり人が集まらないのかな？と思っていましたが、当日は満席で立ち見が出るほどでした。演題1は『協力施設から集められた基礎データ』を紹介。演題2は『地域や性差、服薬指導の影響などの視点から』の発表。演題3では『投与量と剤数の相関性や非定型薬の併用状況などについての考察』として発表しました。今回ような非常にユニークな考察が出来たのも、まだ9施設でしたが全国規模のデータが集められたからだと思います。多施設からバイアスのかかっていない生のデータが取れるということは、非常に有意義であり、これまでになく貴重な報告であったと思います。

社会的関心度の高い発表であった為か、我々PCP研究会が発表した内容は、後日、時事通信のインターネットニュースや中日新聞の記事に掲載されました。

一般誌が記事として取り上げてくれるという事は一般の方々の精神科薬物療法に対する関心が確実に高くなって来ている、ということでしょう。

我々の中でも「処方調査だけでは精神科医療を急激に変化させることに繋がらないのでは?・・・」という意見もありますが、実際に調査に参加したメンバーが、その結果を院内学会で発表した際、下記のような反応があったようです。我々の地道な活動にも明るい光が差し込んで来ているように思います。



全国処方調査に参加して

今回の全国調査に参加するまで、当院においては、処方調査を実施したことがなかった。

言い訳になるが、日々の業務におわれ、データ処理に費やす時間的余裕がなかったからである。また、調査参加を決めた時には、その結果は、あくまでも現状把握にとどまり、それが自分たちの日常業務に影響を与えることなど、全く期待していなかった。

調査結果は、予想通りどの項目においても全国平均よりも高く、改めて数値化されたものを目を見ると、今までの自分たちの業務が否定されたようで、そのショックというものは予想以上に大きなものであった。

医師をはじめ、病院職員に当院のこの現状を、また私たちの受けたショックを知ってもらいたいと考え、この調査結果と当院のデータをもとに、アレンジしたもの（病棟機能別、医師別）を院内学会に発表した。看護職員の反応は、「やっぱり」「でも、私たちではどうにもならないよね」という冷ややかなものであった。後日、医師、どちらかという、多剤大量処方傾向のある医師から、「わかってはいたけど・・・少し、考えなくてはいけないね。でも、どのように処方整理、単剤化していいのかわからない。シミュレーションしてくれないか?」という依頼がきた。単剤化については、私たちも薬剤管理指導業務を通じて働きかけてきたつもりだっただけに、この医師の反応に驚いたと同時に、数字の威力を知ることとなった。

その後、再度自分たちの業務を見直し、少しずつであるが、処方の単純化、単剤化を医師と探っていくための時間を作っている。

なお、発表内容に関しては、「臨床精神薬理（星和書店）」への投稿（吉尾代表幹事執筆）を予定しております。掲載された暁には、ぜひ御覧下さい。

共同研究参加施設募集（処方調査の実施）

PCP研究会では、昨年に引き続き、本年も10月31日（火）に共同で処方調査を実施することになりました。会員のご施設からも広く参加施設を募集します。前述のとおり、昨年は幹事施設で処方調査を行いました。まだまだ十分な症例数とは言えず、今後更に大規模な調査を実施することで、より詳細なデータを収集し、多方面からの解析を行っていきたいと思います。皆様のご協力が、「適切な精神科薬物療法」を前進させる大きな力になります。調査に参加を希望される方は、PCP研究会事務局までメールでご連絡下さい。追って資料をお送りさせていただきます。※応募締め切りは9月末日とさせていただきます。

☆PCP研究会事務局 e-mail : pcp-secretariat@nifty.com

下期ブロック講演会開催のご案内

（2006年10月～2007年3月）

ブロック	場所	開催日	会場
北海道	札幌	11/18（土）	協同組合 札幌総合卸センター
東北	仙台	11/25（土）	宮城県建設産業会館
	盛岡	11/26（日）	マリオス
関東甲信越	東京	3/11（日）	JAホール
	千葉	2/25（日）	ぱるるプラザ
	大宮	2/4（日）	埼玉県県民健康センター
東海	名古屋	3/4（日）	<未定>
北陸	金沢	1/14（日）	地場産業振興センター
近畿	大阪①	1/14（日）	梅田スカイビル
	大阪②	2/25（日）	梅田スカイビル
中国・四国	岡山	3/11（日）	岡山コンベンションセンター
	高松	12/10（日）	香川県県民ホール
九州	福岡	1/28（日）	大塚製薬（福岡支店）会議室
	鹿児島	3/4（日）	鹿児島県医師会館
	沖縄	11/12（日）	メルパルク沖縄郵便貯金会館

※沖縄県は年一回の開催予定となっております。

現在、皆様のお役に立つ講演会になるよう企画中です。詳しい日程・内容などにつきましては、後日郵送又は大塚MR等を通じてご連絡いたします。下期も皆様多数のご参加をお願いいたします。

事務局 掲示板

講演会欠席者の皆様へDVD貸し出し案内

入会したものの、講演会に出席できなかった方々へDVDを貸し出しいたします。

① 統合失調症（病態生理編）

② 統合失調症（薬理学編～Part-1）

希望される方はPCP研究会事務局までご連絡下さい。

事務局連絡先：mail : pcp-secretariat@nifty.com

URL : <<開設準備中>>

※メールには必ず 1. 施設名、2. 氏名を記載して下さい。

【編集後記】

吉尾代表の甘い言葉に誘われて、今ではPCP研究会がライフワークになろうとしています。この会は、精神科薬剤師の将来を明るくするための「同志」が集まる会です。会員数はほぼ1000人に達しました。これから、本格的な会の始まりです。自分たちの未来を切り開くのは、自分たちしかいません。私たちを取り巻く多くの問題が山積する中ですが、PCPの「同志の輪」を広げながら、未来に向かって「いざ出航！」